

2015年(平成27年)5月18日(月曜日)

セメント新聞

コーティング型 防護材発売

東京ライノ

防護塗装・高性能ポリマーマー材を販売する東京ライノ(本社・東京都江戸川区)は3月、米国ライノ・ライニングス社が製造する特殊樹脂「ポリウレアスプレー・コーティング」の国内販売を開始した。

建物の支柱や内外壁、天井等に約2ミリの厚さで噴射コーティングすると、大地震や爆発事故などが起こった際に特殊ポリマー(構造強化ポリマー材)が衝撃を吸収し、部屋ごと防護する。新たな発想から生まれたインフラ保護材で、対衝撃効果をはじめ、防錆・防食・防水性能なども極めて

高く、公共建築や医療施設、鉄道施設等への用途開拓を進める考えだ。

欧米の鉱山等で行った特殊車両の荷台への衝撃(爆発)実験では保護材をコーティングしていない車両は荷台ごと跡形もなく吹き飛んだが、コーティングした車両は軽度の被害で済んだという。塗装コストは1平方メートルあたり約1万5000円。一般的な補強工事に比べ工費は最大で半額、工期は約5分の1に抑えられる。

東京ライノが、4トントラックに塗装剤入りドラム缶や熱処理用機材、ホース等の必要資材を積み込んで施工業者に貸し出すほか、施工者への塗布作業講習、施工技術認定証の発行などを行い施工責任を担保する。今後、大手セネコンや自治体等へ働きかけ、老朽化した設備の補強工事などに参入し、初年度5億円の売り上げを目指している。